

はじめに

この地区は、明治時代に札幌農学校（後に北海道大学）附属第三農場として開墾が進みました。昭和24年には戦後の農地解放により自作農が始まりましたが、高度成長期には大きく発展した道都札幌の住宅地域として居住者が急激に増加し、昭和59年3月には地域活動の核となる栄西連合町内会が誕生しました。

この地域の面積は2.4平方キロメートルで、平成25年10月末現在12,160世帯、23,261人の方々が暮らしています。

地下鉄南北線麻生駅と東豊線栄町駅の中間に位置し、北端にはJR太平駅もある閑静な住宅地ですが、最近では集合住宅も増えています。

地域では防犯・防災などのほか、地域のメインイベントである「三世代交流の集い」や「ふれあい事業」など、地域の子供からお年寄りが楽しめるイベントも企画・運営しています。

この地域に住んでいる方々は「わが街を住み良い街にしよう」と日々活動をしている方が大勢いらっしゃいます。

この冊子は、地域の方々の活動を紹介させていただき、より多くの方々が自分の出来る範囲内で一人でも多く活動の輪に加わっていただくことを願い、作成しました。

